

てる意味において欠点があると思われます。この欠点を補うために、引継ぎの事前事後において関係教師が十分に話し合いをする機会を持つこと、また平素から他の組の園児との接触を多くすることを心がけております。ことに園長、主任教諭は、園児全体の性格を十分に知っておいて、担任教諭の指導に当ることとつとめております。

入園募集について

入園決定につきましては、テスト、抽籤、紹介などいろいろな方法があると思いますが、本園では申込順により決定しております。本年度の募集人員は、三才児三六名、四才児三六名の計七二名ですが、毎年一二〇名前後の希望があり、三十余年の歴史と

新年度への体制



永山 暁 美

毎年、新年度を迎える頃になると、私どもの幼稚園では、どう
いう組織になるだろうかということが最大の関心事になりま

寺院併立の幼稚園という立場から、定員厳守も困難なところがあります。また組の編成上の原則実施が、園児の大学付属、公立幼稚園への異動によって、実際上はなかなかむずかしい現状であります。また現在、園児定員を一八〇名としておりますが、設置基準にてらすと、一六〇名以下としなければなりません。三十六年度までに施設拡張、または定員減少のいずれかを考慮しなければならないのです。

毎年、組の編成と担任教諭の決定については、園長のもっとも苦心をするところであり、これがまた、その年の教育の成果いかんにかかわる重要な鍵となっております。

今後も更に検討して、よりよき教育の成果をあげるべく、深き考慮をはらっていきたいものと思っております。(広島・私立昭和園長)

す。

理想的には、三年保育児何名、二年保育児何名と、計画をたてて募集し、一貫した保育計画が出来ればと思いますが、地域の現在の状態では、とても及ばないことでございます。一般に幼児期の教育の重要性が理解されていないので、就学前にひとりでも多く幼稚園生活を経験させてやりたいという意味で、希望者は、テストや身体検

査の結果、ほとんどが入園を許可されています。その為、願書を締め切る頃にやっと、来年度の組編成の見通しがつくことになりませんが、こういう臨機応変の立場でも、私たちはいろいろと希望を話し合っております。

一、施行規則にもありますが、ひとりの受持つ人数は四十名が限度と思います。三十五名を越えると、ひとり多くてもそれを感じるような気がいたします。戦後ある時期にやむを得ずどの組も四十五名だった時、修了式を終えてつくづく、いつも十分に手が回らなかったこと、とてむくたびれたことを感じたのを忘れられません。またあまり経験がありませんけれど、人数が少なくても活動力に欠けるのではないのでしょうか。流感などで欠席の多かった時に、そういうことを思いました。

一、二年保育児が年長組になる時、一年保育の他の組との振り合いい上、新入児をある程度混ぜるということは、出来る限りやめたいと思います。先生にも、その子どもにとつても、保育以外の苦勞が加わってしまいます。新入園児の中でもすでに保育歴のある者は、この組に入れてもよいと思いますが――。

一、一年保育児は、どこでもやっているのではないかと思いが、生年月日順に組編成をすると、自然の發達に合った生活が出来ると思っています。四、五月生まれの組と早生まれの組では、体格、態度、遊び、仕事とすべての点で、こんなに違うものか

と感じさせられています。

一、二年保育児と三年保育児は、必ず別な組として扱っていきたいと思えます。三年保育児が、いつもままごとの赤ちゃん役であるよりも、同年令の友だちと夢の世界で大いに遊んで将来伸びるべき力を蓄えながら、皆に愛される子どもになるように。しかし、さし当ってひとりの先生が両方を受け持つとなればむずかしいことだと思えます。

一、入園テストや身体検査の結果、体の弱い人、故障のある人、智能の劣っていることの明らかな人は、早生まれの組に編入したらどんなものでしょうか。小学校へ進学の場合にも、このことが引継がれればよいと思えますが――。

一、一組の担任の先生は、ひとりがよいと思えます。それにつけても、幼稚園の経営上からはなかなか許されないことでしょうか。でも、組を持たない先生がひとりいて下されば、病氣その他やむを得ない欠席をする場合、どんなに気持が落ち着くことでしょうか。また、当時の気付かない第三者の目としての意見を、聞かせてもらえればありかたいと思えます。

しかし現実の新学年度は始まります。二年保育児三十名を続けて受け持つことを理想としておいて、それぞれの分野で出来るだけのことをしていきたいと思っております。

(神奈川・洗足学園幼稚園)